

仙北市に伝わる 伝統行事・小正月行事

松葉・相内の裸参り



毎年2月第3日曜日に無火災を祈願する西木町松葉、相内の裸参りが2月18日に行われました。

今年は5人の若者が参加。桧木内川の清流で身を清め、わらで編んだ「けんだい」を腰につけ、白足袋にわらじ履きでかけ声勇ましく集落内を走り、一気に旭山に駆け登り、金比羅宮に無火災を祈願。腰の「けんだい」と結びひもを切ったわらじを神木に結えつけ、お神酒をいただき下山しました。



小正月行事 中里のカンデッコあげ

中里塞之神の小正月行事として伝えられ、毎年、旧暦の1月15日に行われている「中里のカンデッコあげ」(国記録選択無形民俗文化財・県指定無形民俗文化財)が、3月4日の夜、西木町中里集落で行われました。



この「カンデッコ」とは、朴の木で作った小型の鎌のことで、このカンデッコと胡桃の木で作った男根を注連縄の両端に結んで一対にし、これを神木である桂(市指定天然記念物)に豊作や縁結び、家内安全など、その年への願いを込めて投げ掛けます。狙いどおりに掛かると願いが叶えられると言われ、掛かったものをはずして栗や柿などの果樹に掛けると、多くの実を結ぶと伝えられています。

当日は、カンデッコを肩に掛けた地域の男性が神事に臨んだ後、桂のより高いところを狙って投げ掛けました。帰るときには、桂に掛かったカンデッコを外して持ち帰りました。



生保内地区の小正月行事「なるか」



生保内地区に伝わる小正月行事「なるか」が、3月4日、市役所田沢湖庁舎前駐車場で行われました。

当日は、時折強い風の吹く天候でしたが、正月に飾られたしめ飾りや門松などのお焚き上げも無事行われ、また、なるか保存会のみなさんにより温かいそばなどが参加者に振る舞われました。今年は雪不足のため雪遊びはできませんでしたが、子どもたちは配られた花火を楽しんでいました。

最後にホラ貝と太鼓が響き始めると、わら松明をもった方々が会場を練り歩き、五穀豊穡と無病息災を祈願しました。